

目 標	取組みから見えてきた課題と今後の見直し・改善(案)の概要	推進会議からの主な意見
(4) 学校・家庭・地域 が連携を深め、 12年間の学びや 育ちをつなげます 【学校教育】	<p>①異校種間連携事業の整理と充実 事業の意義を子どもたちに周知し、事業の価値を高める。</p> <p>②異校種参観(教師中心の活動)の充実 授業づくりの新たな視点を得るため、幼→中、中→幼の参観を進める。</p> <p>③高浜カリキュラムの充実 12年間の学びをつなげる高浜カリキュラムを完成させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側で地域と接触しているのは4役が中心。若い先生ももっと積極的に地域と関わるように学校として考えてほしい。 ・高浜カリキュラム推進にあたり、協力していただける地域の方を発掘するためには、部局を越えた横のつながりを意識することが大切である。
(5) 地域ぐるみで子 育ち・子育てを 支えます 【子育て・子育て】	<p>①待機児童対策 民営化・認定こども園化により、3歳未満児の受け入れ枠の拡大、3歳以上児の保育ニーズに対応していく。</p> <p>②子育て支援情報などのPR不足 利用者などの声を活かしたポータルサイトの情報更新やメールマガジンの配信などで、行政から発信が必要な情報を提供していく。</p> <p>③放課後居場所事業の周知不足 児童クラブの入会説明会や、小学校の全校集会などで事業のPRを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年でどのくらい公立幼稚園の入園率が低下し、逆に保育園のニーズが増えているかなど、段階を踏んだ情報発信を行っていく必要がある。 ・市の就園前の子育て支援施策は手厚い。その部分をもう少し盛りあげていけると、お母さんたちが子育てのことを顧み、いろいろな課題にも柔軟に対応できると思う。
(6) 産業を活性化し て、まちを元気 にします 【産業・観光】	<p>①新たな工業用地の創出に向けた協議・調整 県など関係機関と連携を密にしながら取り組む。</p> <p>②地場産業の三州瓦の販売方法の検討 三州瓦屋根工事等奨励補助金の対象を拡大するなど、利用拡大・普及の促進に努める。</p> <p>③高浜市の魅力を高め、活性化への動機づけを図る 観光案内所創造委員会へ参加し、新たな観光資源の発掘などの支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市の特産品を探すことについて、高校生の活動にも期待するが、ほかの手法も検討する必要がある。 ・市は今後観光や産業、衛星都市をめざすのか、どの分野に重点を置いた施策を進めていくのかといった根本的な議論が必要ではないか。
(7) みんなでまちを きれいにします 【環境美化】	<p>①さらなるごみ減量の取組み 新たな資源回収のあり方やごみ袋の有料化、生ごみ堆肥化補助の充実を検討する。</p> <p>②町内会が運営する分別収集拠点の検討 拠点数、収集時間、運営方法について検討する。</p> <p>③子ども環境美化推進員の拡大 環境学習・イベントを開催する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものうちから環境に関心を持つことができるよう、子どもたちへの環境学習施策は大変重要である。
(8) ハーモニーを奏 でる快適な都市 空間をつくりま す 【都市基盤】	<p>①快適なまちをめざした公共インフラの整備 予防保全型の維持管理を計画的に進め、優先度の高い路線から修繕工事などを進める。</p> <p>②地域と連携した憩いの場づくり 各種団体が行う公園・緑地、街路樹や水辺空間の保全に関する行事への支援を引き続き行う。</p> <p>③着実な進捗と国・県との連携 長期的な観点に立ち計画的に事業を進め、計画協議や財政支援など、国・県と連携していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10歳代の「調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う」人の割合が減少している。その要因を分析することが重要である。 ・公園内に水辺空間を作り出すことで、特に子どもの公園に対する愛着が深まると思う。



▲目標(7) 環境学習のようす



▲目標(6) 高浜港駅新駅舎



▲目標(5) 園児による野菜の収穫